

角川の両生・爬虫類

福田 保<sup>1)</sup>・南部久男<sup>2)</sup>

<sup>1)</sup> 富山南高等学校 〒939-8191富山市布市98

<sup>2)</sup> 富山市科学博物館 〒939-8084富山市西中野町1-8-31

Amphibians and reptiles from Kadokawa River, Uozu-shi, Toyama, Japan

Tamotsu Fukuda<sup>1)</sup> and Hisao Nambu<sup>2)</sup>

<sup>1)</sup> Toyama-minami Senior High School, 98 Nunoichi, Toyama-shi, Toyama 939-8191, JAPAN

<sup>2)</sup> Toyama Science Museum, 1-8-31 Nishinakano-machi, Toyama-shi, Toyama 939-8084, JAPAN

富山県魚津市の山間部から平野部を流れる角川で両生・爬虫類相の調査を行ったので報告する。

調査地点および調査方法

角川は魚津市の標高700mほどの古鹿熊（現在は廃絶村）の山中を源に、魚津市市街地を流れ、富山湾へ注ぐ。途中に角川ダムがあり、角川ダムより上流は溪流であるが、ダムより下流は大部分が中流域で、下流域は河口付近の市街地の僅かな範囲である。調査は2007年5月5日、7月1日、9月24日に実施した。調査場所は市街地に近い平野部では、河川内の水溜まりや周辺の水田、山間部では、本流に注ぐ沢や川沿の道路周辺、池等で、主な調査地点は下記の通りである。

1. 新角川：下流。河口に近く、周辺は市街地。
2. 住吉：中流から下流。富山地方鉄道下。左岸側に河川敷内の水溜まりがある。周辺は、住宅地と水田。
3. 住吉：中流。周辺は水田。
4. 湯上：中流。北陸自動車道下。周辺は水田。
5. 金山谷：中流。周辺は水田。
6. 鹿熊：中流。周辺は、左岸側は斜面に水田があり、右岸は水田と集落。
7. 角川ダム下：周辺は崖。
8. 角川ダム上流左岸側（ダムと古鹿熊の間）：山の斜面で、大小の沢が流れ込む。
9. 古鹿熊：廃絶村の集落からさらに林道を上ったところの大きさ約30×30mの池。5月5日

の調査では水はほとんどない湿地で、その中にいくつか水溜まりがあった。7月1日の調査では池全体に水があった。

10. 角川源流部周辺

種の確認は、個体や卵塊の目撃、カエル類は鳴き声を参考にした。

結果および考察

I 両生類

確認された両生類は、イモリ、クロサンショウウオ、ハコネサンショウウオ、アズマヒキガエル、トノサマガエル、ツチガエル、ヤマアカガエル、カジカガエル、タゴガエル、シュレーゲルアオガエル、モリアオガエルの11種である（表1）。

イモリとクロサンショウウオは、5月5日に池（前述のNo.9）で確認された。クロサンショウウオはオス1個体と卵塊が確認された。イモリも水溜まりで確認された。この池は5月5日には水はほとんどなかったが、7月1日には増水し、モリアオガエルを確認した。調査は午後1時頃で、池の周りにはりだした木に付着していたモリアオガエルの卵塊の水面からの高さや卵塊数及び成体数を調査した。高さ1m、卵塊20個；高さ2m、10個；高さ5～8m、50個、成体約30個体、高さ3m、20個、20個体；高さ2m、20個；高さ1m、10個、高さ5m、20個。卵塊は合計約150個、成体は約50個体確認された。また、メス1個体とオス数個体の抱接中のものが、約10見られた。

トノサマガエルは、下流部 (No. 2) の河川敷内の水溜まりや周辺の水田、山間部 (No. 8) の右岸側の土石採取場の水場で確認された。ツチガエルは、鹿熊 (No. 6) の左岸側の水田付近で確認された。タゴガエルは、源流部 (No. 10) の砂止めで1個体 (5月5日) と卵塊が確認された。ヤマアカガエルは、源流部の林道脇の水溜まりで確認された。カジカガエルは5月5日に上流部で鳴き声を確認された。シュレーゲルアオガエルは、水田数カ所で鳴き声を確認された。

ハコネサンショウウオは2ヶ所の谷川で幼生が確認された。

本調査で、山地や平野部に生息する代表的な両生・爬虫類が確認された。両生類では、山地にはアズマヒキガエル、ヤマアカガエル、タゴガエルが生息し、谷川にはハコネサンショウウオ幼生が生息し、カジカガエルが見られ、池にはイモリが生息しクロサンショウウオが産卵していた。集落ぞいの水田にはシュレーゲルアオガエルやツチガエルが生息し、平野部の水田にはトノサマガエルが生息していた。

本調査では確認できなかったが、両生類では他に山地にはヒダサンショウウオ *Hynobius kimurae* が、山地の集落周辺の水田にはニホンアカガエル *Rana japonica* が、平野部にはアマガエル *Hyla japonica* が生息すると思われる。

## II 爬虫類

爬虫類では、カナヘビ、シマヘビ、アオダシヨウの3種が確認された。

アオダイシヨウは下流部の河川内 (No. 2) で確認された。シマヘビは山地で確認された。カナヘビは山地の草むらで確認された。

本調査では確認できなかったが、他にはトカゲ *Eumeces latiscutatus*、ジムゲリ *Elaphe conspicillata*、マムシ *Agkistrodon blomhoffii* など山地に生息すると思われる。

## 謝辞

ハコネサンショウウオの情報を提供していただきました稲村修氏に厚くお礼申し上げます。

表1. 確認された両生・爬虫類目録  
確認日、場所 (本文参照)、確認物の順に示す。

### 両生綱 AMPHIBIA

#### サンショウウオ目 CAUDATA

#### サンショウウオ科 HYNOBIIIDAE

クロサンショウウオ *Hynobius nigrescens*  
5/5, No. 9, 成体オス1と卵塊10個 (2×6m, 水深80cmの水溜まり).

ハコネサンショウウオ *Onychodactylus japonicus*  
9/24, No. 8, 幼体1 (気温19.6℃; 水温12.6℃); 10/6, No. 8 (古鹿熊に近い) 右岸の谷川, 幼生1 (全長77mm), 稲村修氏確認.

#### イモリ科 SALAMANDRIDAE

イモリ *Cynops pyrrhogaster*

5/5, No. 9, 成体1 (1×1mの水溜まり).

### カエル目 SALIENTIA

#### ヒキガエル科 BUFONIDAE

アズマヒキガエル *Bufo japonicus formosus*

9/24, No. 8, 亜成体?死体1と幼体1.

#### アカガエル科 RANIDAE

タゴガエル *Rana tagoi tagoi*

5/5, No. 10, 成体1と卵塊 (気温23.2℃, 水温14.8℃).

ヤマアカガエル *Rana ornativentris*

5/5, No. 10, 成体1 (水溜まり), 9/24, No. 8, 1.

トノサマガエル *Rana nigromaculate*

5/5, No. 2, メス1; 9/24, No. 8, 成体1.

ツチガエル *Rana rugosa*

7/1, No. 62, 成体1.

#### アオガエル科 RHACOPHORIDAE

シュレーゲルアオガエル *Rhacophorus schlegelii*

5/5, No. 4, 水田で数個体の鳴き声; 7/1, No. 5, 水田で鳴き声数個体.

モリアオガエル *Rhacophorus arboreus*

本文参照

カジカガエル *Buergeria buergeri*

5/5, No. 8 (角川の1箇所) で鳴き声が聞こえた).

### REPTILIA 爬虫綱

#### SQUAMATA トカゲ目

#### LACERTIDAE カナヘビ科

カナヘビ *Takydromus tachydromoides*

5/5, No. 7, 草むらで成体1個体; 7/1, No. 9, 成体1と幼体1; 9/24, No. 8, 成体1.

### COLBRIDAE ヘビ科

シマヘビ *Elaphe conspicillata*

7/1, No. 6, 成体1 (胴前半と後半の模様が異なる).

アオダイシヨウ *Dipodon orientalis*

5/5, No. 2, 成体1.